

(第1号様式)

『大学月額奨学金』、『多子世帯向け奨学金』、『大学入学一時金』貸与申込書

公益財団法人 秋田県育英会 理事長 様		平成 29 年 8 月 日	
下記の記載事項に相違ありません。貴会の「奨学金」の貸与に関係書類を添え、 連帯保証人と連署をして申し込みいたします。			
フリガナ	印	※	生年月日
本人氏名 (必ず自署・押印のこと)		男・女	平成 年 月 日
希望する奨学金及び貸与額(該当する箇所に○をしてください) ※大学月額奨学金(当会認定所得300万円以下)及び多子世帯向け奨学金の応募資格をいずれも満たす方は、 <u>両方に申込みできます</u> 。			
大学月額奨学金	※	申込みます・申込みません	※両方に申し込んだ場合でも、採用にあたっては大学月額奨学金か多子世帯向け奨学金のどちらかになります。
多子世帯向け奨学金	※	申込みます・申込みません	
大学入学一時金	※	申込みます(50万円・70万円・100万円)・申込みません	
現住所(住民票を移していない場合も実際に住んでいる場所の住所を記入) 〒 -	電話番号 - -		
フリガナ	印	※	生年月日
連帯保証人 (本人未成年者の場合 親権者・自署押印) (続柄:本人の)		男・女	昭和 年 月 日
住所 〒 -	電話番号 - -		
書類等を送付させて頂く住所をお書きください			
書類等に関する日中の連絡先(必ず記入してください)		※ 携帯・職場・その他()	
- -		※ 父・母・その他()	(書類に関して分かる方)
進学予定(志望)校	複数受験する方も1校のみ記入してください	大学	
出身校	小学校卒業	高等学校	
	中学校卒業	高校卒業(見込)年月 平成 年 月 (高卒認定の方は○をしてください) 高卒認定	
家庭状況	【生活状況その他特別な事情等がある場合に記入してください】		

※の箇所は該当するものを○で囲むこと

本人と連帯保証人は各自自署し、印鑑は別々のものを使用してください。
鉛筆、消せるペン、修正液等は使用しないでください。

(第1号様式)

『大学月額奨学金』、『多子世帯向け奨学金』、『大学入学一時金』貸与申込書

No

家 族 調 書

	続柄	氏 名	年 齢	職 業 等		収入金額	所得金額
				(会社名及び自営の方はその旨)		万円	万円
同一生計の家族	本人			兄弟姉妹数 (家族調書に書かない兄弟も含む数) ____人兄弟姉妹の____番目			
	父						
	母						
	欄が足りない場合は、一行に2名記入する等、全員分をご記入ください。					父母の所得金額合計	
就学者(本人除く)	続柄	氏 名	※ 設置者	※ 通学別	※ 就学者控除	控除額 万円	
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学		
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学		
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学		
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学		
所得から差し引かれる項目	障害のある人がいる世帯 ※いずれかに○ はい の場合は障害者手帳の写しを添付					※(はい・いいえ)	
	両親のいずれかが単身赴任している世帯 ※いずれかに○ はい の場合は家賃が分かる書類等を添付					※(はい・いいえ)	
	長期に療養を必要とする人のいる世帯 ※いずれかに○ はい の場合は確定申告書控え(第一表・第二表)の写しを添付					※(はい・いいえ)	
	火災、風水害、盗難等の被害を受けた世帯 ※いずれかに○ はい の場合はり災証明書等と28年中の被害額のわかる書類の写しを添付					※(はい・いいえ)	
	母子・父子世帯 → 当てはまる場合は「父」又は「母」の欄を空欄としてください						
	本人の就学者控除					180	
	控除額の合計						

太枠内は記入しないでください。

以下の欄には記入しないでください。

所得金額	万円	就学者等 特別控除額	万円	認定所得額	万円
世帯人員		人		成 績	